

8月の園だより

令和6年7月19日

杉並区立西荻北子供園

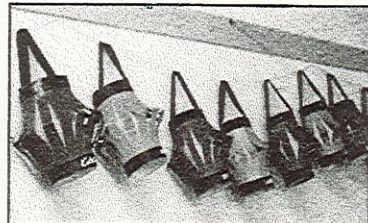
園長 須田 なぎさ

繋がりを感じた「こどもえんまつり」

園長 須田 なぎさ

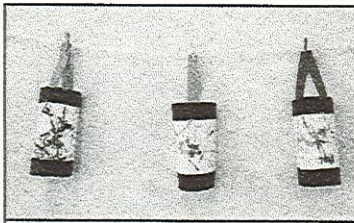
7月13日に行われた「こどもえんまつり」は、PTA おまつり係の方々をはじめとする皆様のご協力により、子どもたちの笑顔いっぱいの会になりました。ありがとうございました。

まつりのお店は、代々引き継がれている定番の「ヨーヨー釣り」「金魚すくい」や「ボール投げ」は、子どもたちも楽しんでいましたね。おまつり係のアイデアの「プレスレット屋」は、折り紙でいろいろな形を作ることができることに驚きました。お子さんたちは何を選んでいましたか？



年長そう組 ちょうちん

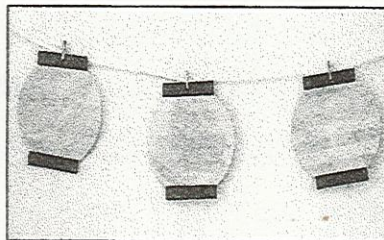
今年の年長そう組は、食べ物の屋台や射的ゲームを出店しました。そう組では、遊びの中で射的ゲームがまず出てきたようです。その姿を先生は逃さず、取り上げて楽しめるようにしました。さらに、そう組



年中くま組 ちょうちん

に、『こどもえんまつり』があることを知らせると、“まつり”をイメージして、焼きそば、綿菓子などの「食べ物があるといい」とアイデアが次々に出てきました。やりたいことに向かって考えを出したり、友達と関わったりして取組みました。加えて、先生が子どもたちと一緒に考え、子どもたちの実態にあった援助があり、楽しいコーナーが実現できました。

おまつりの前々日、そう組は、年中くま組と年少うさぎ組を射的ゲームや屋台に招待してくれました。「いらっしゃいませ」「どれがいいですか？」など店でのやりとりを楽しみました。遊んだ後、年中年少でも、自分たちなりにおまつりを取り込んで遊びが始まっていました。「楽しい」「やってみたい」という気持ちは、学年を越えて繋がっていきます。そして、そう組で考えてつくったものを、みんなが楽しんでくれたことは、達成感や自信になりました。



年少うさぎ組 ちょうちん

ホールで踊った「にしおぎきたこどもえん音頭」は、幼稚園時代に周年の記念に作ったオリジナルのものです。『げんきげんきげんき いっぱい』という歌詞のとおり、笑顔と元気になる素敵な音頭です。幼稚園時代に担任をしていた私は、久しぶりに踊りました。長い年月を経て、踊り継がれて今日があることに、感慨深い気持ちになりました。

まつりのお店や音頭などから、様々なつながりを感じた「こどもえんまつり」でした。

今後PTAでは、人形劇鑑賞や講演講習会があり、係の方々が企画してくださっています。また、杉並区子供園PTA連合会の副会長園として、事務局の運営にご協力いただいている方もいます。

子供園の生活は、園の教職員だけでなく保護者の皆様と共に、手を携えていくことで、充実したものになっていきます。今後も、教職員と保護者の皆様と繋がりを、子どもの育ちを一緒に支えてまいりましょう。よろしくお願いいたします。

子どもたちの様子と8月のねらい（長時間保育）

長時間保育 うさぎ組

<今月のねらい>

- 夏の生活を知り、安心して過ごす。
- 保育者と一緒に好きな遊びや夏の遊びを楽しむ
- 異年齢児と一緒に生活したり遊んだりすることを楽しむ。

長時間保育 くま組

<今月のねらい>

- 夏の生活がわかり、身の回りのことを自分でやろうとする。
- 友達や保育者と一緒に、やりたい遊びや夏の遊びを楽しむ。
- 年上の幼児との関わりに刺激を受けたり、年下の幼児に親しみを感じたりする。

長時間保育 そう組

<今月のねらい>

- 夏の生活の仕方がわかり、自分でできることを自分でする。
- 友達と一緒にやりたい遊びに取り組んだり、夏の遊びを楽しんだりする。
- 年下の幼児を気にかけてたり、世話をしたりして一緒に過ごすことを楽しむ。

<家庭との連携>

○楽しい夏休みの始まりです。ご家庭の予定に合わせて、お休みされることも多くなるかと思いますが、生活のリズムが変わってしまうと、お子さんの体調にも影響してしまいます。普段通りの生活を心がけていただきますようお願いいたします。また、提出していただいた出席予定を、変更されることがありましたら、ご連絡ください。

